

- 本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
- 本製品のカバーを開けた後、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光のあたる場所、ホコリや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり保管したりしないでください。

保証書

型番		SW-KVM2HVC・SW-KVM4HVC	
シリアルナンバー			
お客様	お名前		
	ご住所	〒	
		TEL	
販売店	販売店名・住所・TEL		
	担当者名		
保証期間	12ヶ月	お買い上げ年月日	年 月 日

2009.2現在

岡山サライセーター／〒701-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1	TEL.086-223-3311	FAX.086-223-5123
東京サライセーター／〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8	TEL.03-5783-0031	FAX.03-5783-0033
札幌営業所／〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマシヤンシ札幌 仙台営業所／〒980-0851 仙台市青葉区城町4-1-37 茨茶仙台ビル	TEL.011-611-3450	FAX.011-716-8990
大阪営業所／〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 南大阪八代ビル	TEL.06-6297-4638	FAX.06-6297-4638
福岡営業所／〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2街8-20第2博多相互ビル	TEL.06-6355-5310	FAX.06-6355-5315
和／TEL.076-222-8384	TEL.092-471-6721	FAX.092-471-8078

09/02/HMDaNo



**最初に
ご確認ください。**

セット内容

- | | |
|--------------------------|----|
| ●切替器本体 | 1台 |
| ●ACアダプタ | 1個 |
| ●パソコン接続ケーブル (SW-KVM2HVC) | 2本 |
| (SW-KVM4HVC) | 4本 |
| ●USB-PS/2変換ケーブル | 1本 |
| ●簡易ホットキー対応表シール | 2枚 |
| ●取扱説明書・保証書(本書) | 1部 |

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、
お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

■安全にお使いいただくためのご注意	3
・注意	3
・お手入れについて	3
■取扱い上のご注意	3
■本書について	4
■本書の表記について	4
■本製品の特長	5
■必要なハードウェア環境	5
・コンソール	5
・コンピュータ	5
■各部の説明・名称	6
・フロントパネル	6
・バックパネル	7
■本製品の使用方法	8
・接続する前に	8
・接続例	9
・ポート番号の割当て	10
・ホットプラグ	10
・終了と再起動	10
■基本操作	10
■ホットキー操作	11
・ホットキーによるポートアクセス	11
・ホットキーモードの呼出し	11
・ホットキーモードが有効になったら	11
・ポートのダイレクト切替え一覧表	11
・オートスキャン	12
・その他のホットキー機能	12
■OSD操作	13
・OSDの概要	13
・OSDメイン画面	13
・OSDの操作	13
・OSDメイン画面に表示される文言などについて	14
・OSD機能	15
F1 : KVM	15
F2 : USB	15
F3 : AUDIO (オーディオ)	15
F4 : SCAN (スキャン)	15
F6 : SET (セットアップ)	16
F7 : PN	16

目次(続き)

■Macキーボードエミュレーション	18
■OSD初期設定値	19
■仕様	20
■トラブルシューティング	21
■SPHDコネクタについて	22
■保証規定	22

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

■注意：下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- 取付け・取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
- 次のような場所では使用しないでください。
 - ①直射日光の当たる場所
 - ②湿気や水分のある場所
 - ③傾斜のある不安定な場所
 - ④静電気の発生する場所
 - ⑤通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

■お手入れについて

- ①清掃するときは電源を必ずお切りください。
- ②機器は柔らかい布で拭いてください。
- ③シンナー・ベンジン・ワックス等は使わないでください。

取扱い上のご注意

本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万が一備えてデータのバックアップをごまめにご勧めします。(切替え時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜け等)

本書について

この取扱説明書では**SW-KVM2HVC・4HVC**の取付けや配置方法、操作方法について説明しています。本書の構成については下記をご覧ください。

- はじめに …………… 本製品の特長や機能の紹介、またフロント・バックパネルについて説明します。
- 導入 …………… 本製品の接続や設定方法などについて説明します。
- ホットキー操作 …… 本製品のホットキー操作について説明します。
- OSD操作 …………… 本製品のOSD(オンスクリーンディスプレイ)の詳細および操作方法について説明します。
- 付録 …………… 本製品についての技術情報およびその他の重要事項についてまとめてあります。

本書の表記について

[]	入力するキーを示します。例えば【Enter】はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、【Num Lock】+【-】のように「+」を表記してあります。同時ではなく順番に押す場合は、【K】【Enter】のように列記してあります。
①	番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。
●	●印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。
⚠	重要な情報を示しています。

本製品の特長

- USB2.0対応2.1chサラウンドオーディオ機能搭載2(4)ポートKVMスイッチ
- 1組のコンソールから2台(**SW-KVM2HVC**)または4台(**SW-KVM4HVC**)のコンピュータおよび2ポートのUSBデバイスを操作可能
- 2ポートUSB2.0ハブ搭載
- USB 2.0仕様準拠
- デュアルインターフェース……PS/2とUSBの両方に対応
- オーディオ対応……優れた重低音の2.1chサラウンドオーディオ出力
- IP電話デバイス等の利用に最適なコンソールオーディオポート……フロントパネルにもスピーカー・マイクポートが搭載されているため、接続・取外し操作も簡単
- PS/2-USB変換ケーブル(同梱)との併用により、キーボードおよびマウスはPS/2とUSB両方に対応。USBキーボード・マウス、PS/2キーボード・マウスの混在使用が可能
- KVM、USBハブ、オーディオの独立切替え可能
- VGA解像度……最大2048×1536、DDC2B準拠
- ワイド画面の解像度に対応
- コンピュータの切替え方法は3種類……フロントパネルのプッシュボタン、OSD(オンスクリーンディスプレイ)、ホットキー
- マルチプラットフォーム対応……Windows Vista・XP・2000、Mac OS、Linux
- コンソールマウスポートエミュレーション、多機能マウス対応
- ディスプレイエミュレーション機能……ディスプレイのメーカーおよびディスプレイ情報を記憶
- キーボードエミュレーション対応……キーボード未接続でコンピュータを起動した際のブートエラーを回避
- Macキーボードエミュレーション対応
- すべてのコンピュータをモニタリング可能なオートスキャンモード
- ステータスが一目でわかるLEDディスプレイ
- ソフトウェア不要の簡単セットアップ

必要なハードウェア環境

■コンソール

- 接続するコンピュータの解像度に適したVGA、SVGAまたはマルチシンク対応ディスプレイ
- USBまたはPS/2キーボード
- USBまたはPS/2マウス

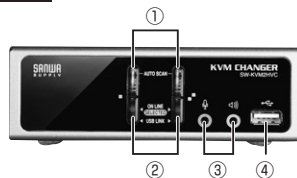
■コンピュータ

- VGA、SVGA またはマルチシンクカード
- USBまたはPS/2(ミニDIN 6ピン)のマウスポート
- USBまたはPS/2(ミニDIN 6ピン)のキーボードポート

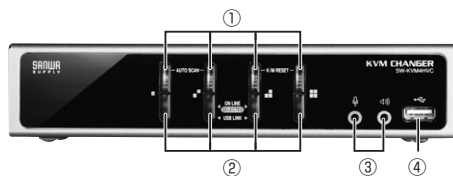
※本製品はシリアルマウスに対応しておりません。シリアル-PS/2変換コネクタを使ってシリアルマウスを接続しても正しく動作しません。

各部の名称・説明

SW-KVM2HVC フロントパネル



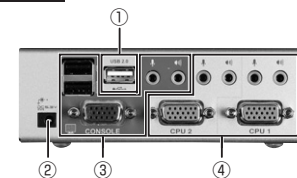
SW-KVM4HVC フロントパネル



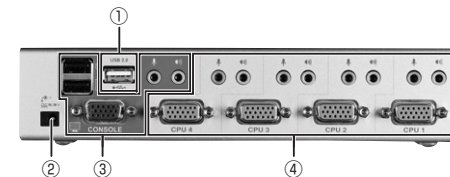
①ポート選択ボタン	ボタンを押すと、対応するポートと接続されたコンピュータに切り替わります。MODE1 (デフォルト設定)とMODE2 (代替設定)の2種類の設定があります。また、OSDの「F6:SET (セットアップ)」機能で、これらの設定を選択することができます。「F6:SET (セットアップ)」については、P.16をご参照ください。
②LED	ポート選択ボタンに内蔵されています。 上段がKVMポートLED、下段がUSB LEDです。
	K V M 点灯時 (暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたコンピュータの電源が入っています。 点灯時 (明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。 点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。
	U S B 点灯時 (暗いグリーン) ▶USBケーブルでコンピュータと接続されています。 点灯時 (明るいグリーン) ▶対応ポートに接続されたコンピュータが、USBハブに接続されたデバイスにアクセスしています。
③コンソールポート (オーディオ)	コンソールで使用するマイクとスピーカーを接続します。こちらのオーディオポートは、バックパネルのものより優先されます。
④USB2.0ハブポート	お使いになるUSB機器 (プリンタ・スキャナ等)を接続します。

各部の名称・説明 (続き)

SW-KVM2HVC バックパネル



SW-KVM4HVC バックパネル



①USB2.0ハブポート	お使いになるUSB機器 (プリンタ・スキャナ等)を接続します。
②電源ジャック	電源アダプタのケーブル側を接続します。
③コンソールポート セクション	キーボード・マウス・ディスプレイ・マイク・スピーカーの各ケーブルを接続します。ポートには分かりやすくするため、接続するデバイスのアイコンとPC99規格準拠のカラーリングを施しています。
④コンピュータポート	付属ケーブルでコンピュータを接続します。

※本製品付属ケーブルの黄色15pinコネクタ (SPHDコネクタ)は特別に設計されたものです。誤って通常のD-sub15pinVGAケーブルを接続しないようご注意ください。

本製品の使用方法

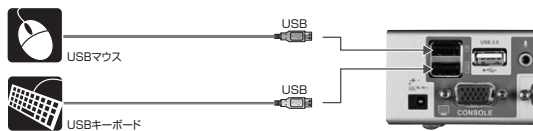
■接続する前に



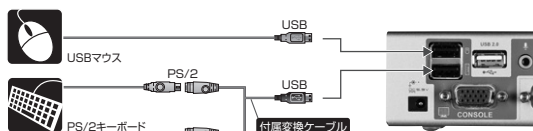
- ①今から接続するコンピュータや周辺機器など、すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能があるコンピュータは、電源ケーブルも抜いてください。
- ②コンピュータや周辺機器へのダメージを避けるため、接続されているすべての周辺機器が正しくアースされていることを確認してください。
- ③以下の手順に従って作業を行ってください。

①キーボードとマウスを、本製品バックパネルのUSBポートに接続してください。

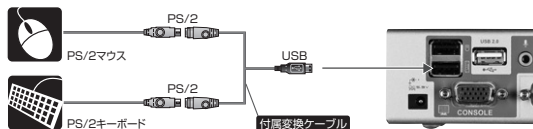
**USBマウスと
USBキーボードを使用する場合**
それぞれ該当するUSBポートへ接続してください。



**USBマウスと
PS/2キーボードを使用する場合**
マウスはUSBポートへ接続し、キーボードは付属変換ケーブルを使って接続してください。



**PS/2マウスと
PS/2キーボードを使用する場合**
いずれも付属変換ケーブルを使い、**キーボード接続ポート**に接続してください。

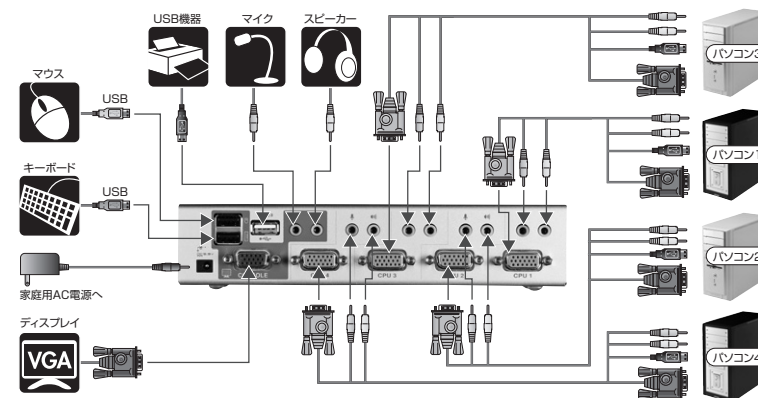


- ②ディスプレイを、本製品バックパネルのコンソールディスプレイポートに接続してください。
- ③メインで使用するマイクとスピーカーは、本製品フロントパネルのコンソールマイクおよび2.1chサラウンドサウンドスピーカージャックに接続してください。
※フロントパネルに接続したマイクとスピーカーは、バックパネルに接続したものよりも優先されます。
- ④同梱されているKVMケーブルを使用して、本製品バックパネルのコンピュータポートにSPHDコネクタを接続してください。SPHDコネクタに付随しているマイク・スピーカーのコネクタは、SPHDコネクタを接続したポートと同じグループのマイク・スピーカージャックに接続してください。
- ⑤ケーブルのもう一端はパソコンの各ポートに接続します。
- ⑥電源アダプタをコンセントに接続し、アダプタのケーブル側を本製品の電源ジャックに接続します。
- ⑦USB機器は本製品フロントおよびバックパネルのUSBハブポートに接続してください。
- ⑧コンピュータの電源をオンにしてください。

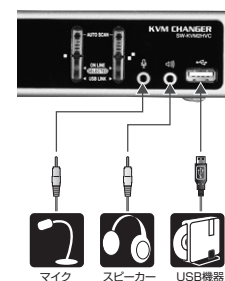
本製品の使用方法 (つづき)

■接続例 …… 図はSW-KVM4HVCの接続例です。パソコンを4台まで接続・制御できます。

バックパネル



フロントパネル

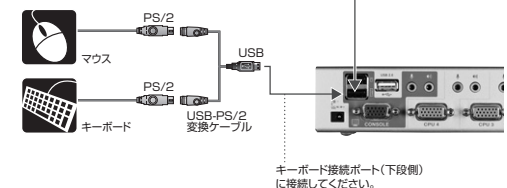


その他の接続例

ワイヤレスキーボード+マウスセットの場合



PS/2キーボード・PS/2マウスの場合



本製品の使用方法 (続き)

■ポート番号の割当て

本製品の各ポートには、ポート番号が割当てられています。ポート番号はバックパネルのコンピュータポートに明記されています。

コンピュータポートのポートIDは、そのコンピュータを接続したポート番号に対応します。例えば、ポート2に接続されたコンピュータのポートIDは2になります。

ポートIDは、KVM・USB・オーディオのコントロールをホットキーによって切替えるときに使用します。

■ホットプラグ

本製品はUSBホットプラグに対応しています。本製品に接続された機器は、電源をオンにしたままUSBポートに接続・取外すことが可能です。

■終了と再起動

本製品の電源を切ったり再起動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

- ①本製品の電源をオフにします。
- ②本製品バックパネルからKVMケーブルを取外します。
- ③本製品から電源アダプタを取外します。
- ④10秒経過してから、KVMケーブルを再び接続します。
- ⑤本製品に電源ケーブルを再び接続します。

基本操作

本書では、以下の表記を使用します。

KVM キーボード・マウス・ディスプレイのこと
オーディオ スピーカー・マイクのこと
USBハブ フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

■ボタン切替え

切替器前面のポート選択ボタン(SELECTED)を押して切替えてください。

- ポート選択ボタンを1回押してすぐに離す。
→KVMのみを選択したポートに切替えます。オーディオ・USBハブは切替わりません。
- ポート選択ボタンを2回押す。
→オーディオのみを選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタンを2秒以上長押しする。
→KVM・オーディオ・USBハブのすべてを、選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタン1と2を同時に2秒以上長押しする。
→オートスキャンを開始します。
- ポート選択ボタン3と4を同時に2秒以上長押しする。
→キーボード及びマウスのリセットを行います。(SW-KVM4HVCのみ)

ホットキー操作

■ホットキーによるポートアクセス

ホットキーによって、直接キーボードから任意のコンピュータにKVMコントロールを切替え可能です。

■ホットキーモードの呼出し

ホットキーによる全ての操作は、まずHKM(ホットキーモード)を呼出してから行います。ホットキーモードの呼出しは次の手順で行います。

- ① **[Num Lock]** キーを押したまま、
 - ② **[-]** (マイナス) キーを押し、すぐに離します。
 - ③ **[Num Lock]** キーを離します。
- 以下、この作業を **[Num Lock] + [-]** と表記します。

■ホットキーモードが有効になったら

- **[Caps Lock]** と **[Scroll Lock]** のLEDが交互に点滅し、ホットキーモードが有効になったことを示します。
- 通常のキーボードおよびマウス機能は無効になり、ホットキー対応のキーストロークだけが有効となります。
- **[Esc]** キーを押すと、ホットキーモードを終了します。

■ポートのダイレクト切替え一覧表

ホットキー	機 能
[Num Lock] + [-] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを次のポートに切替えます。 SW-KVM2HVC : ポート1→ポート2 または ポート2→ポート1 ※1 SW-KVM4HVC : ポート1→ポート2→ポート3→ポート4→ポート1
[Num Lock] + [-] [K] [Enter]	KVMコントロールのみを次のポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Num Lock] + [-] [U] [Enter]	USBハブのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Num Lock] + [-] [S] [Enter]	オーディオのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
[Num Lock] + [-] [n] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを選択したポートに切替えます。 ※1
[Num Lock] + [-] [n] [K] [Enter]	KVMコントロールのみを選択したポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Num Lock] + [-] [n] [U] [Enter]	USBハブのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Num Lock] + [-] [n] [S] [Enter]	オーディオのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
[Num Lock] + [-] [n] [K] [U] [Enter]	KVMコントロールおよびUSBハブを選択したポートに切替えます。 オーディオは現在のポートのままです。
[Num Lock] + [-] [n] [K] [S] [Enter]	KVMコントロールおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 USBハブは現在のポートのままです。
[Num Lock] + [-] [n] [U] [S] [Enter]	USBハブおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールは現在のポートのままです。
[Num Lock] + [-] [n] [K] [S] [U] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを選択したポートに切替えます。 [Num Lock] + [-] [n] [Enter] と同じ動作です。

※表中の[n]は、コンピュータのポートID(1~4)を表しています。実際の操作時は、切替え対象となるポートIDを入力してください。

※1 KVM・USBハブ・オーディオがそれぞれ別のポートを選択していても、このホットキーによってすべて同じ選択ポートに切替えられます。

ホットキー操作 (続き)

■オートスキャン

一定の間隔で自動的にKVMコントロールを切替えることができます。この機能によって、スイッチやOSD等を毎回手動で操作することなく、KVMに接続されたすべてのコンピュータの状態をモニタリングできます。ホットキー操作については下表をご覧ください。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[~] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。 KVMコントロールが5秒間隔で切替わります。
[Num Lock]+[~] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。 KVMコントロールが指定した間隔(n=1~99秒)で切替わります。

●スキャンインターバルの設定

オートスキャンのスキャンインターバル(間隔)は、OSD機能の「F6:SET(セットアップ)」機能でも設定可能です。

P.16の「F6:SET(セットアップ)」をご参照ください。

●オートスキャンモードを終了するには、【Esc】または【スペース】キーを押してください。

■その他のホットキー機能

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[-] [D]	ポートに接続されたディスプレイのメーカーとディスプレイ情報を読み込み、保存します。切替え時にディスプレイ解像度が変更される、などの症状が発生した場合に本操作を行いディスプレイ情報を保存してください。
[Num Lock]+[-] [F4]	テキストエディタのペースト機能で現在のOSD設定をリストアップできます。 a : ホットキー b : OSDホットキー c : ポートOS d : マウスエミュレーション e : ボタン設定
[Num Lock]+[-] [F5]	USBキーボードとマウスのリセットを行います。

OSD操作

■OSDの概要

オンスクリーンディスプレイ(OSD)は、メニュー形式でSW-KVM2HVC・4HVC本体の諸設定および接続されたコンピュータの管理を行います。これらの操作はすべてOSDメインメニューから実行します。OSDメインメニューを呼出すには、【Scroll Lock】キーを2度押してください。

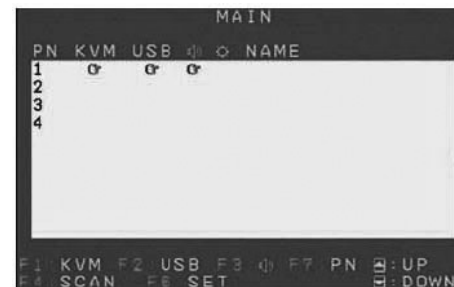
※OSD表示のホットキーはデフォルトの【Scroll Lock】キーから【Ctrl】キーに変更できます。

P.16の「OSD HOTKEY」をご参照ください。

なお、[【Ctrl】キーを2度押す際は、同一の【Ctrl】キーを押してください。(左なら左側を2回、右なら右側を2回)

■OSDメイン画面

OSDを起動すると、以下のような画面が表示されます。



■OSDの操作

ポートを選択するには、【F1】・【F2】・【F3】・【F7】のファンクションキーを使用するか、上下のカーソルキーを操作することでハイライトバーを移動させます。ハイライトバーを切替えたいポートに移動させたら、【Enter】キーを押すかマウスの左ボタンをダブルクリックします。選択されたポートに指型のアイコンが表示され、画面表示はOSD画面から選択したポートに切替わります。

KVM・USBハブ・オーディオ・PNの列をクリックしても、ポートの選択が可能です。マウスを使用すると、1列または複数列の選択が可能です。ダブルクリックまたは【Enter】キーを押すとハイライトバーが表示されます。選択されたポートに指型のアイコンが表示され、画面表示はOSD画面から選択したポートに切替わります。

KVM・USBハブ・オーディオ・PNの列は【Tab】キーでも選択可能です。上下のカーソルキーでポート番号を選択し、【Enter】キーを押します。ハイライトバーのダブルクリックでも選択できます。選択されたポートに指型のアイコンが表示され、画面表示はOSD画面から選択したポートに切り替わります。

「ネームリスト」の列では、Tabキーまたは上下のカーソルキーを使用してポートを選択します。ポートを選択し、ダブルクリックまたは【Enter】キーを押すと名前を編集することができます。





上記の方法以外でも、【F7】キーを押すか、マウスで「ネームリスト」の列のポート番号を選択することで、KVM・USBハブ・オーディオのすべてを同時に選択したポートに切替えることができます。

OSD操作 (続き)

OSDを終了させるには、**[Esc]**またはマウスの右ボタンをクリックします。OSDの画面が消え、もとのコンピュータの画面が表示されます。この場合、設定は保存されません。

設定を保存してOSDを終了させる場合は、**[Enter]**を押すか、中央の黄色い部分またはハイライトバーにカーソルを移動させマウスの左ボタンをダブルクリックします。

■OSDメイン画面に表示される文言などについて

PN	この列は、セットアップされたすべてのKVMポートのポートIDを表示します。選択したいポート番号にハイライトバーを移動させ、 [Enter] を押すと簡単にポートが切替わります。
KVM	この列に指型のアイコンが表示されている場合、そのポートのコンピュータがKVMスイッチによって選択されていることを表します。
USB	この列に指型のアイコンが表示されている場合、そのポートのコンピュータがUSBハブにアクセスしていることを表します。
	この列に指型のアイコンが表示されている場合、そのポートのコンピュータがオーディオを選択していることを表します。
	このマークが表示されている場合、そのコンピュータの電源が入っていて、オンラインであることを表します。
NAME (ネームリスト)	ポートに名前をつけると、この列に表示がされます。名前を編集するには、指定したポートの「ネームリスト」の欄をダブルクリックします。この部分をダブルクリックするとピンク色の四角い形をしたカーソルが表示され、ポート名前を編集できるようになります。 以下の文字を使用することができます。 アルファベット [a~z A~Z] 数字 [0~9] 記号 [+ - / : .および スペース]
 : UP	ここをクリックすると、ハイライトバーが上に移動します。
 : DOWN	ここをクリックすると、ハイライトバーが下に移動します。

OSD操作 (続き)

■OSD機能

OSD機能は、OSDの諸設定とコンピュータの管理に使用します。ポートの速やかな切替え、選択したポートのスキャン、ポートネームの編集・削除、OSDの設定変更などを行います。

OSD機能の操作には以下の手順を行います。

- ①メイン画面の上部にあるファンクションキーをクリックするか、キーボードのファンクションキーを押します。
- ②表示されたサブメニューから、操作するメニューを選択してダブルクリックするか、ハイライトバーを移動させて**[Enter]**を押します。
- ③前のメニューに戻るには、**[Esc]**を押します。

F1 : KVM

選択されているKVMのディスプレイ画面を見るには、**[F1]**キーを押すか画面上でカーソルを「F1: KVM」に移動してクリックします。(P.13の「OSDの操作」に記載されている手順に従ってください)

F2 : USB

USBが選択されているコンピュータのディスプレイ画面を見るには、**[F2]**キーを押すか画面上でカーソルを「F2:USB」に移動してクリックします。(P.13の「OSDの操作」に記載されている手順に従ってください)

F3 : AUDIO (オーディオ)

選択されているオーディオのディスプレイ画面を見るには、**[F3]**キーを押すか画面上でカーソルを「F3: AUDIO(オーディオ)」に移動してクリックします。(P.13の「OSDの操作」に記載されている手順に従ってください)

F4 : SCAN (スキャン)

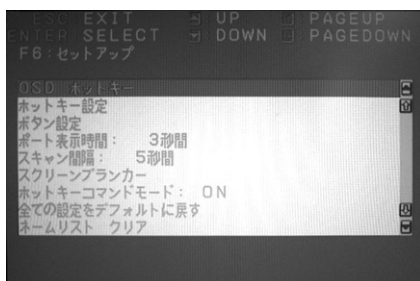
OSD画面上の「F4」をクリックするか**[F4]**キーを押すとオートスキャンモードが有効になります。この機能により、一定間隔でアクセス可能なコンピュータに自動的に切替わります。ご自身で切替え操作を行わず、簡単にコンピュータをモニタリングすることができます。

- オートスキャン等のコンピュータの選択には、ホットキーでスキャン/スキップモードの設定が可能です。(キーボードによるポート操作の詳細は、P.11「ホットキーの操作」をご参照ください)
- 各ポートの画面表示時間は、P.17の「F6:SET(セットアップ)」の「SCAN DURATION(スキャン間隔)」の項目で設定することができます。
- コンピュータが接続されていないポートや接続されていても電源がオフになっているポートでオートスキャンが実行されると、ディスプレイには何も表示されず、マウスおよびキーボード操作は無効になります。「SCAN DURATION(スキャン間隔)」で設定された時間が経過すると、次のポートをスキャンします。
- オートスキャンが有効になっている場合、コンソールは通常の操作ができません。通常のコンソール機能に戻るには、**[スペース]**キーまたは**[Esc]**を押してオートスキャンモードを終了してください。

OSD操作 (続き)

F6 : SET (セットアップ)

この機能では、使用環境を設定します。**[F6]** キーを押すかOSD画面で「F6」をクリックすると、以下のよう画面が表示されます。



- ① 設定の変更をする項目をダブルクリックするか、ハイライトバーを移動させ **[Enter]** を押します。
- ② 項目を選択すると、その項目のサブメニューが表示されます。(前のメニューに戻るには、**[Esc]** を押します) メニューを選択する場合は、その項目をダブルクリックするか、その項目までハイライトバーを移動させて **[Enter]** を押します。
- ③ 選択された項目の前にはアイコンが表示されます。設定項目は、下記リストをご参照ください。

設 定	機 能
OSD ホットキー	OSDメインメニューを呼び出すホットキーを設定します。 [Scroll Lock] [Scroll Lock] または [Ctrl] [Ctrl] です。 [Ctrl] キーの二度押しは、コンピュータで使用しているプログラムに対して不都合が生じる場合がありますので、デフォルト設定は [Scroll Lock] キーの二度押しになっています。
ホットキー設定	ホットキー機能を有効にするホットキーを選択します。 (ホットキー操作については、P.11をご参照ください) [Num Lock] + [+] または [Ctrl] + [F12] です。 デフォルト設定は [Num Lock] + [+] です。
ボタン設定	フロントパネルのポート選択ボタンの設定を、以下2つのモードから選択できます。 MODE1 (モード1: デフォルト設定) ① ポート選択ボタンを1回押すと(2秒以内)、KVMだけが指定したポートに切替わります。 ② ポート選択ボタンを2回押すと(2秒以内)、オーディオだけが指定したポートに切替わります。 ③ ポート選択ボタンを2秒以上押すと、KVM-オーディオ-USBハブのすべてが同時に指定したポートに切替わります。 ④ ポート選択ボタン1と2を同時に2秒間押すと、オートスキャンモードに入ります。 ⑤ ポート選択ボタン3と4を同時に2秒間押すと、キーボードおよびマウスがリセットされます。 (SW-KVM4HVC のみ) MODE2 (モード2: 代替設定) ① ポート選択ボタンを1回押すと(2秒以内)、KVM、オーディオ、USBハブのすべてが同時に指定したポートに切替わります。 ② ポート選択ボタンを2回押すと(2秒以内)、オーディオが指定したポートに切替わります。 ③ ポート選択ボタンを2秒以上押すと、KVMだけが指定したポートに切替わります。 ④ ポート選択ボタン1と2を同時に2秒以上押すと、オートスキャンモードに入ります。 ⑤ ポート選択ボタン3と4を同時に2秒以上押すと、キーボードおよびマウスのリセットを行います。 (SW-KVM4HVC のみ)

(表は次ページにも続きます) ◀

OSD操作 (続き)

設 定	機 能
ポート表示時間	ポート切替が行われた後、モニタ画面にOSD画面を表示する時間を設定します。ユーザーにより指定(0秒~255秒)が可能です。デフォルト設定は3秒です。 例えば、この項目を5秒に設定して、 [Enter] を押し、前のメニューに戻ると、OSD画面表示時間は5秒に設定されます。
スキャン間隔	選択されたコンピュータのスキャンを行うオートスキャンモードでの各ポートの表示時間を設定します。0~255秒の指定が可能です。デフォルト設定は5秒です。 [Enter] を押すと設定が保存されます。 ※数値「0」秒は、オートスキャン機能では無効です。
スクリーンブランカー	デフォルトでは、「SET TIMEOUT(タイムアウト時間設定)」がOFF、「SCREEN LOCK(スクリーンロック)」がOFFに設定されています。設定方法は以下のとおりです。 ①「SET TIMEOUT」をONにします。1~30分の入力が可能です。 「SET TIMEOUT」がOFFの場合、「SCREEN BLANKER PASSWORD(スクリーンブランカーパスワード)」および「SCREEN LOCK(スクリーンロック)」の項目を設定することができません。 ②「SCREEN BLANKER PASSWORD」を設定します。パスワードは8文字まで入力することができます。(A~Z、0~9を使用可能) デフォルトのパスワードを変更していない場合、 [Enter] を押すとスクリーンロックをキャンセルすることができます。 ③スクリーンロックをONに設定するには [Y] を入力します。スクリーンロックがONに設定されている場合、スクリーンブランカーモードを終了してOSD画面に戻るためにはパスワードが必要です。
ホットキーコマンドモード	ホットキー操作がコンピュータで動作中のプログラムと不都合がある場合などに、ホットキーコマンド機能の使用可能/不可を切替えます。デフォルトはONで使用可能になっています。
全ての設定をデフォルトに戻す	すべての変更を元に戻し、工場出荷時のデフォルト設定にします。(OSDの工場出荷時におけるデフォルト設定は、P.19をご参照ください) ポートに指定した名前の設定だけが保存されます。
ネームリスト クリア	ポートネーム設定を削除して、工場出荷時のデフォルト値(全ポートネーム無し)にします。
ビープ音の設定	ビープ音のON/OFFの設定を行います。デフォルト設定はONになっています。ONに設定されると、ポートが変更されたとき、オートスキャン機能が有効になっているとき、また、OSDメニューで無効な入力があったときにそれぞれビープ音が鳴ります。
ポートOS	各ポートのOSをPC、Macに設定します。この項目を正しく設定することによってMac OSのキーボードの特殊キーを入力可能になります。 ポートを選択するには、上下のカーソルキーを使用するかマウスでクリックします。 [スペース] キーまたはマウスのダブルクリックでも各ポートのOS設定を変更することができます。
マウスエミュレーション	コンソールマウスポートのエミュレーション機能を有効/無効にします。デフォルト設定はONです。この設定をOFFにすると、マウスの信号はKVMスイッチで変換されることなく、そのままコンピュータに送られます。 ※この機能は、USBマウスおよびコンピュータのUSBポートを使用してセットアップしたときにのみご利用いただけます。
マウス切替機能	マウスのスクロールボタンをダブルクリックすることでKVM-オーディオ-USBハブすべてが同時にPort1→Port2→Port3→Port4→Port1と循環して切替わります。 (SW-KVM2HVC) (SW-KVM2HVC) はPort1→Port2→Port1の循環切替え)
OSD言語	OSDは、ENGLISH(英語)、日本語、DEUTSCH(ドイツ語)の3種類の表示言語の選択が可能です。デフォルト設定はENGLISH(英語)です。










OSDの操作 (続き)

F7: PN

この機能では、KVM・USB・オーディオが同時に指定したポートに切り替わります。**【F7】** キーを押すかOSD画面の「F7:PN」をクリックすると、KVM・USB・オーディオの列を同時に選択することができるので、上下のカーソルキーでポート番号を選択します。**【Enter】** キーまたはマウスでダブルクリックすると、選択されたポートに指型のアイコンが表示されます。OSD画面が消え指定したポートに切り替わります。

Macキーボードエミュレーション

コンソールがPC互換キーボード (101/104キー) でも、エミュレーション機能によりMacキーボードの特殊キーを入力できます。対応は下記の表をご参照ください。

PC互換キーボード	Macキーボード
【Shift】	Shift
【Ctrl】	Ctrl
	
【Ctrl】 【1】 ※	
【Ctrl】 【2】 ※	
【Ctrl】 【3】 ※	
【Ctrl】 【4】 ※	
【Alt】	Alt
【Print Screen】	F13
【Scroll Lock】	F14
	
【Enter】	Return
【Backspace】	Delete
【Insert】	Help
【Ctrl】 	F15

※ **【Ctrl】** キーを押してすぐ離し、その後フルキー側の数字キー **【1】** ～ **【4】** を押して離してください。

OSD初期設定値

■OSD初期設定値一覧

SW-KVM2HVC・4HVCの工場出荷時における初期設定の内容は以下のとおりです。

項目	初期設定値
OSDホットキー	[Scroll Lock] [Scroll Lock]
キーボードポートホットキー	[Num Lock]+[-]
ボタン設定	モード1
OSD画面表示時間	3秒
スキャン時間	5秒
スクリーンブランカー機能	OFF(無効)
タイムアウト	OFF(無効)
スクリーンブランカーパスワード	[Enter]
スクリーンロック	OFF(無効)
ホットキーコマンドモード	ON
ビーブ音	ON
ポートOS	PC
マウスエミュレーション	ON
言語	日本語

仕様

SW-KVM2HVC・4HVCの仕様一覧表です。

品 番	SW-KVM2HVC	SW-KVM4HVC
対 応 パ ソ ン	DOS/Vデスクトップパソコンまたはノートパソコン、Apple Macシリーズ (USB Aコネクタ メス、HD(3WAY) 15pinディスプレイコネクタを持つ機種)	
対応キーボード	PS/2キーボード、USBキーボード ※1 ※2	
対 応 マ ウ ス	PS/2マウス、USBマウス ※1	
対応ディスプレイ	HD(3WAY) 15pinメスコネクタを持つマルチスキャンディスプレイ(アナログRGBディスプレイ) ※DDC2B対応	
対応スピーカー・マイク	3.5mmステレオミニプラグ対応スピーカー・マイク	
対 応 O S	Windows Vista・Windows Server 2003・Windows XP(Home/Professional Edition)・ Windows 2000(Professional/Server/Advanced Server)、 Linux(Redhat8.0動作確認)、Mac OS X、Mac OS 9.0以降	
対 応 解 像 度	2048×1536ドットまで表示可能	
インターフェース	<パソコン用> オールインワンコネクタ:SPHD 15ピン(メス)×2 ※VGA/USB信号ラインを一体化 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2	<パソコン用> オールインワンコネクタ:SPHD 15ピン(メス)×4 ※VGA/USB信号ラインを一体化 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×4 マイク:3.5mmステレオミニジャック×4
	<コンソール用> ディスプレイ:HD(3WAY) 15pinオス×1 キーボード:USB Aコネクタメス×1 マウス:USB Aコネクタメス×1 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2 USB2.0ハブ:USB Aコネクタメス×2	
切 替 え 方 式	本体セレクトスイッチ切替え、ホットキー切替え、OSD切替え、オートスキャンモード切替え	
切 替 え 音	ビー音ON/OFF設定可能	
電 源	ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)	
消 費 電 流	88.5mA(最大)	116mA(最大)
消 費 電 力	3.91W(最大)	5.4W(最大)
動作時温度・湿度	0～50℃ 湿度80%以下(結露なきこと)	
保管時温度・湿度	-20～60℃ 湿度80%以下(結露なきこと)	
サ イ ズ	W130×D42×H70mm	W200×D42×H70mm
重 量	419g	618g
付 属 品	パソコン切替器本体×1 専用ケーブル(1.2m×2) ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)×1 USB-PS/2変換ケーブル×1 取扱説明書(保証書付き)×1 簡易ホットキー対応表シール×2	パソコン切替器本体×1 専用ケーブル(1.2m×2、1.8m×2) ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)×1 USB-PS/2変換ケーブル×1 取扱説明書(保証書付き)×1 簡易ホットキー対応表シール×2

※1 Bluetoothキーボード・Bluetoothマウスには対応していません。

※2 キーボードに搭載されているUSBハブポートは本製品経由では使用することはできません。
キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバを要する機能については、本製品経由では使用できません。
指紋認証機能付キーボード、タッチパッド付キーボードなどでは動作しないことがあります。

トラブルシューティング

SW-KVM2HVC・4HVCトラブルシューティング

Q) MacとWindowsの混在環境でコンソールにMac用キーボードを使用したい。

A) 取扱説明書P.13の「使用キーボードを変更する」をご参照ください。

Q) 特殊なドライバを要するマウスをコンソールで使用すると一部の機能が動作しない。

A) 本製品はデフォルトでマウスエミュレーションが有効になっており、特殊なドライバなどをエミュレートすることができません。取扱説明書P.15をご参照の上、マウスエミュレーション機能を無効にしてください。

Q) ワイヤレスキーボード・マウスセットを使用したい。

A) USBレシーバーを切替器バックパネルの「キーボード接続ポート」に接続して使用ください。

Q) ポート切替時にディスプレイ解像度が変わってしまう。

A) ディスプレイエミュレーション機能を使用しディスプレイ情報をKVMに記憶させてください。詳しくは取扱説明書P.14の「ディスプレイエミュレーション機能を使用する」をご参照ください。

Q) USBデバイスが認識しない。

A) スキャナーや複合機プリンタなど一部の機種では機器の認識がしにくい場合があります。USBケーブル長を短くしてお試ください。

Q) ディスプレイはパソコンに直接接続した状態でキーボード・マウスのみを切替えたい。

A) 可能です。ディスプレイは直接パソコンに接続した状態でキーボード・マウスのみ切替器としてもご利用可能です。
(ただしOSD機能は表示することができないためご使用いただけません)

SPHDコネクタについて



本製品はKVMポート、またはコンソールポートに対してSPHDコネクタを使用しております。コネクタの形状に改良を加えておりますので、専用のKVMケーブルのみ製品に接続することが可能です。

保証規定

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品の販売店は、製品および本ドキュメントの使用に関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる表示・保証も行いません。

弊社は製品および付属のソフトウェア・ドキュメントについて、予告なしに改良・改訂を行う権利を有します。詳細については販売店までお問い合わせください。

MEMO